

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No4	運営推進会議を活かした取り組み、運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況などについて報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議でいろいろな方の意見を聞き、又分からないことは行政の方に尋ねてよりいっそうサービスの向上に繋げていきたい。	これまでは運営推進会議のメンバーは決まっていたがその方たちに加え地域の小学校の先生や駐在所のおまわりさんたちにも声をかけ参加して頂く予定。	12 ヶ月
2	NO23	思いや意向の把握。一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分の思いを口に出して言えない利用者が多くなってきているので日頃の気づきや動作等から、その方の思いを汲み取れるように研修を続けていきたい。	出来る限り研修の機会を設け、それを発表し研修記録の表現力のレベルアップが出来るようにしたい。	12 ヶ月
3	NO35	災害対策。火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	火災訓練は定期的に行い、又ミーティングの日には必ず交代で点検及び火災通報装置の仕方を全職員一緒に行うことであわてないで出来るように努めている。	火災は身近なこととして行っているが、地震や津波等は漠然としているので、そのことを身近なものとするために五島市のハザードマップを元に検討していくつもり。又法人全体でも3月末までにマニュアルを作る予定。	12 ヶ月
4	NO49	日常的な外出支援。一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	全員一緒の外出が難しくなっていたり、天候にも左右されるので、先ずは天気の良い日に園外に出ることを増やしていきたい。	全員一緒の行動が困難になってきているので、個別に対応することで外出の機会を増やしていく予定。	12 ヶ月
5					ヶ月